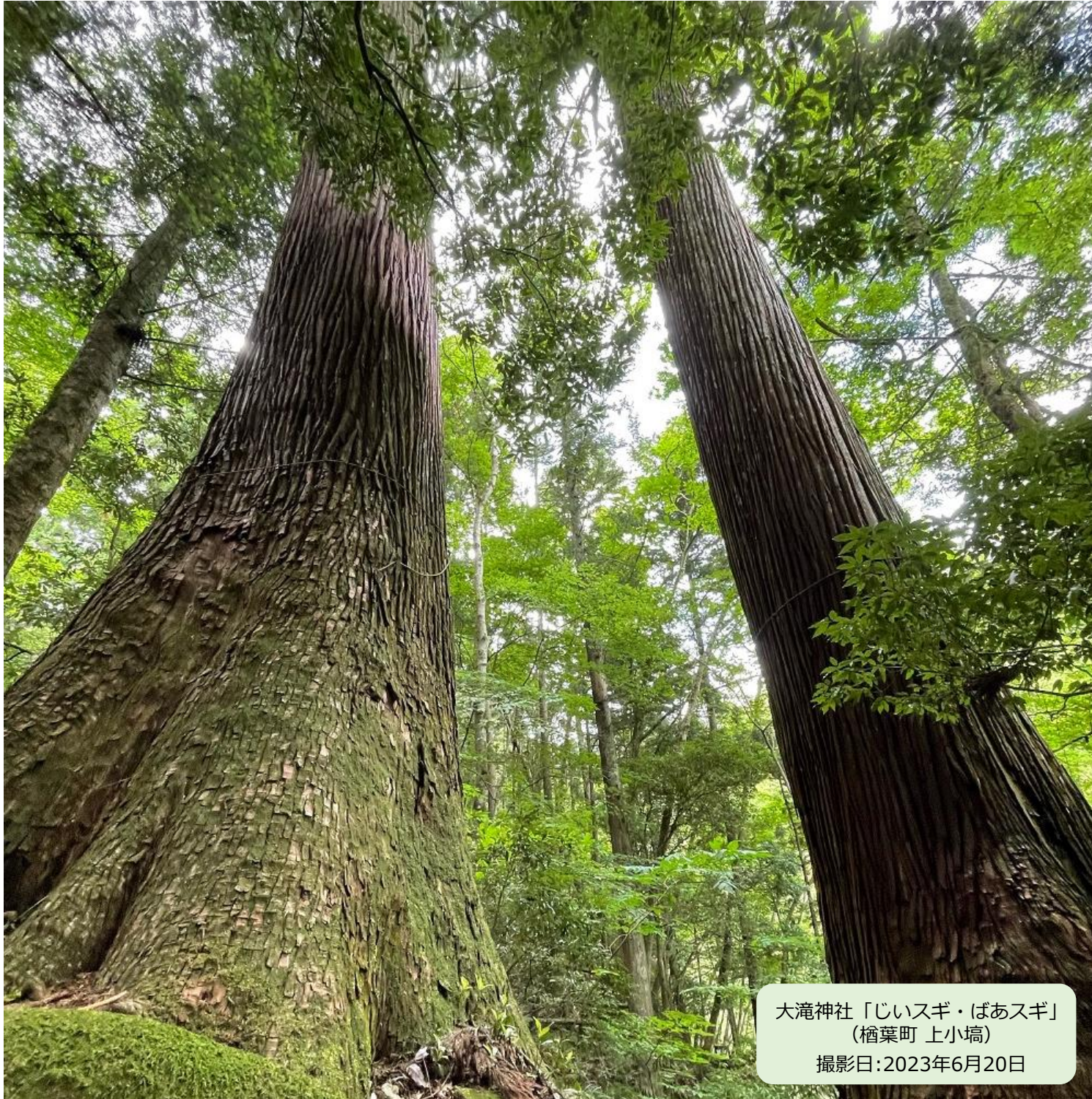


1～4号炉は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

2023年8月1日 発行

- 発電所の業務をご紹介します
- みなさまのご質問におこたえします
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 天山祭りが開催されました
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



大滝神社「じいスギ・ばあスギ」
(楢葉町 上小埞)

撮影日:2023年6月20日



みなさまの声をお聞かせください
こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。
<https://www.tepcoco.jp/2f-np/index-j.html>

品質保証グループでは、発電所における安全や保守等に係る品質保証体系の維持・管理・充実、安全文化の醸成活動や安全性向上活動の取りまとめを行っています。



不適合情報をシステム上で管理している様子

発注先監査により、仕様通りに業務が実施されていることの確認や不適合*の再発防止対策の実施状況について確認を行っています。

また、自主的に発電所のさらなる安全性向上を目的とした提案力強化コンペ開催等の取り組みも行っています。



不適合情報を確認する会議の様子

*不適合とは、法令等の要求事項を満たしていないことを言います。発電所では、法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の日常点検で見つかる計器の不良・故障など、広い範囲の不具合等が対象になります。

発電所の安全性をさらに高めるため、様々な業務を管理

－業務について教えてください

私は、不適合情報の管理を担当しています。発電所内で発生する様々な不具合やその兆候はレポートとして報告されます。そのレポートを元に適切に処置がなされるように、システム上での管理や不適合情報を確認する会議の運営を行っています。また、他発電所の事例や他産業における災害情報を管理し、情報をまとめ所内に周知しています。過去の教訓から学び同じ誤りを起こさないためにも、これらの情報はリスクの感度を高める上で重要な情報となります。

－業務を行う上で心がけていることは

不適合情報は、四半期毎に、県や発電所周辺の市町村に状況を報告しています。報告するにあたり、報告件数に相違がないよう、自己確認や作成者以外の再確認を行い、ミスが発生させないよう気をつけています。また日頃からレポートの整理や進捗管理を行い、件数の把握に努めています。

小さな不具合であっても一つひとつの情報を公開し、透明性を確保することが、地域のみなさまに安心いただくための土台づくりに繋がると考えています。地域に根差す存在となれるよう、業務に取り組んでまいります。



安全総括部 品質保証グループ

くじらおか まさひと

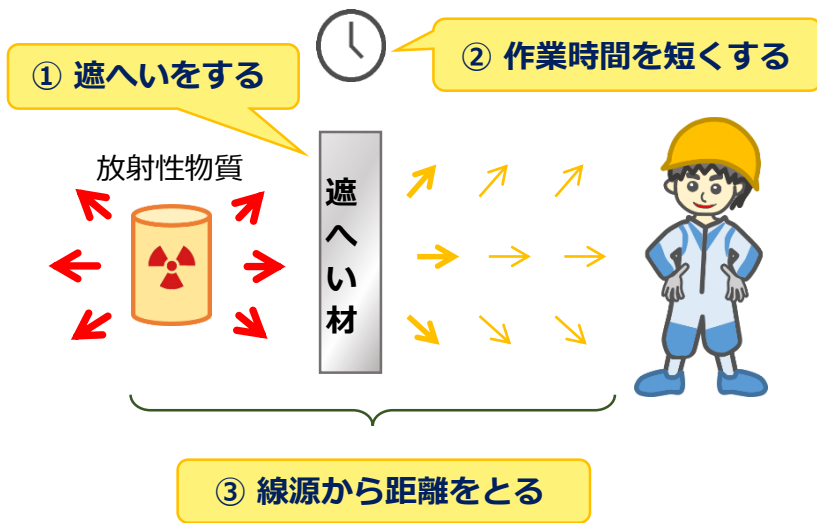
鯨岡 政仁 (広野町出身)

みなさまのご質問におこたえします

Q. 原子力発電所で働く人たちの放射線管理はどのようにしているの？

A. 原子力発電所で作業する放射線業務従事者の線量の限度は、5年間で100ミリシーベルトかつ1年間で50ミリシーベルト以下となるよう法令で定められています。
 作業ごとに線量低減対策を行い、作業で受ける放射線量を合理的に達成可能な限り低く抑えられるように管理しています。また、作業時は放射線量が計画通りに低く抑えられているか適時確認しています。
 当所における放射線管理区域で働く一人あたりの放射線量は、年間平均で0.1ミリシーベルト未満（2022年度実績）です。

●線量低減の主な方法



●線量の主な測定器

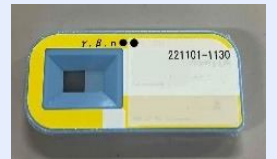
個人線量計

作業時に装着し、外部から受ける放射線量を測る



受動型個人線量計

作業時に装着し、外部から受けた積算の放射線量を測る



ホールボディカウンタ

体内の放射性物質の量を定期的に測る



発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

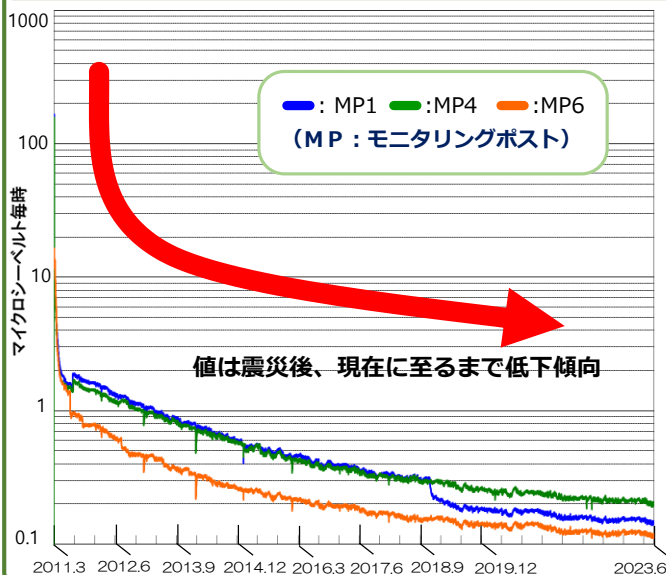
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2023年7月20日 時点

0.07 [MP7] ~ **0.21** [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2023年6月30日)



参考データ

(単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (文化交流センター)	0.13	楢葉町 (役場)	0.07
広野町 (役場)	0.08	川内村 (役場)	0.08

出典：福島県放射能測定マップ (市区町村別線量率一覧) より (2023年7月20日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.13
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典：Safecast (福島県放射能測定マップ) より

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて原子炉から取り出し、1~4号炉の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体

1号炉

2,482体

2号炉

2,544体

3号炉

2,516体

4号炉

天山祭りが開催されました

7月8日、福島県いわき市出身であり、川内村の名誉村民である詩人・草野心平さんをしのぶ「第58回天山祭り」が、川内村民体育センターで開催されました。当日は曇り空となりましたが、生誕120年・没後35年に当たり、村民や心平さんのファン、現代詩誌「歷程」の同人の方々等が100人以上集まり、詩の朗読などを通じて心平さんに思いをはせました。お祭りでは、川内小中学園6、7年生14名による連詩「川内村の未来を創る」の朗読やおおよそ400年前から村に伝わる伝統芸能の西郷獅子と、この日のために子どもたちが用意した紙芝居が披露され、参加者は思い出に残る楽しい時間を過ごしました。



会場全体



連詩を朗読する川内小中学園6、7年生のみなさん



西郷獅子



紙芝居を披露する子どもたち



みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくり等のため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくり等の参考にするを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。



編集後記

昨年のワールドカップカタール大会の興奮も冷めやらぬなか、現在開催中の女子ワールドカップ初戦において、福島県出身選手が初ゴールをあげました。県内のサッカーチームであるJ2いわきFC、J3福島ユナイテッドFCの活躍も期待されます。また、サッカーの聖地Jヴィレッジでは、ユースを題材とした人気マンガ「アオアシ」とのコラボが話題となるなど、今年もサッカーから目が離せません。



発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,264人※です。(2023年6月1日現在)
※1日あたりの入構者数は約810人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	362人	1,702人	2,064人 (91%)
県外	51人	149人	200人 (9%)
合計	413人	1,851人	2,264人 (100%)

福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所のホームページもご覧ください。

<https://www.tepcoco.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間 (平日) 午前9時 ~ 午後5時)
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)